

5. 学校教育系施設

(1) 学校

ア これまでの取組み

湯沢市の小中学校は、一部の学校では学年で1学級という状況（単学級）にあり、教育環境の向上や社会性の確保の観点から、子どもたちにとって望ましい学校のあり方について検討するため、湯沢市学校教育環境適正化検討委員会を設置し、平成30年12月に同委員会から「子供たちの未来を第一義に、湯沢市として望ましい教育環境の学校規模を確保するため、統廃合による再編整備に出来るだけ早く取り組む」ことについての答申があり、これを尊重して、令和元年度に「湯沢市学校再編計画」（以下、「学校再編計画」という。）を策定しています。

この学校再編計画に基づき、令和3年度に、湯沢西小学校へ三関小学校及び須川小学校を統合するとともに、令和4年度に、稲川地域の4小学校（稲庭小学校、三梨小学校、川連小学校、駒形小学校）を統合し、川連小学校の校舎を使用する「稲川小学校」を新設しています。これに伴い、三関小学校の校舎は公文書書庫及び放課後児童クラブに、三梨小学校の校舎は文化財資料収蔵庫に転用する一方、須川小学校、稲庭小学校及び駒形小学校の校舎・体育館、三関小学校・三梨小学校の体育館は普通財産へ転用しています。

令和2年度に、学校施設の長寿命化を図ることにより、トータルコストの縮減と予算の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能や性能を確保するため、中長期的な整備計画として「湯沢市学校施設の長寿命化計画」（以下、「長寿命化計画」という。）を策定しています。

現在、湯沢市は、学校教育法（昭和22年法律第26号）第38条及び第49条の規定に基づく、小学校6校（湯沢地域3校、稲川・雄勝・皆瀬地域各1校）、中学校6校（湯沢地域3校、稲川・雄勝・皆瀬地域各1校）の計12校を設置しています。

○廃止・転用した施設（5施設）

施設No.	施設名称	所在地	地区	区分
学4	三関小学校	関口字堀量68	三関	校舎＝公文書書庫及び放課後児童クラブに転用 体育館⇒廃止（普通財産へ）
学5	須川小学校	相川字須川119-7	須川	廃止（普通財産へ）
学6	稲庭小学校	稲庭町字琵琶倉24	稲庭	
学7	三梨小学校	三梨町字清水小屋244	三梨	校舎⇒文化財資料収蔵庫に転用 体育館⇒廃止（普通財産へ）
学9	駒形小学校	駒形町字三又前田面47-4	駒形	廃止（普通財産へ）

○継続施設（12施設）

施設No.	施設名称	所在地	地区	所管課
学1	湯沢東小学校	杉沢新所字八斗場33	弁天	教育総務課
学2	湯沢西小学校	字万石26	湯沢	
学3	山田小学校	山田字土生原52	山田	
学8	稲川小学校	川連町字道下86	川連	
学10	雄勝小学校	横堀字板橋5	横堀	
学11	皆瀬小学校	皆瀬字下菅生27	皆瀬	
学12	湯沢北中学校	杉沢新所字八斗場33	弁天	
学13	湯沢南中学校	南台6-1	湯沢	
学14	山田中学校	山田字下館10	山田	
学15	稲川中学校	三梨町字間明田140	三梨	

学16	雄勝中学校	横堀字板橋5	横堀	教育総務課
学17	皆瀬中学校	皆瀬字下菅生24-1	皆瀬	

イ 現状と課題

学校施設12施設は、すべて耐震基準を満たしていますが、このうち、6施設は建築から40年以上経過し、老朽化が進んでいます。また、各小学校には25mプールを設置しており、年間のプール使用日数は30日程度となっています。

小中学校は、原則、夏季休業、冬季休業、春季休業、開校記念日、土曜日・日曜日・祝日を除き、毎日授業を実施しています。学校施設の管理運営は直営で、主な支出内容は、施設・設備の保守点検費や光熱水費、修繕費となっており、効率的な管理運営手法の検討が必要です。学校の教職員と事務職員は県費負担職員で、校務職員は市職員です。

各学校とも義務小中学校としての授業で普通教室・特別教室・体育館を使用していますが、学校の運営に支障のない範囲で体育館・グラウンド等の学校体育施設開放を行っています。

施設 No.	施設名称	建築 年	法定 耐用 年数	経過 年数	延床 面積 (㎡)	運営 形態	職員数		支出 (千円)	収入 (千円)	児童 生徒数
							市職員	県職員			
学1	湯沢東小学校	H23	47	11	9,723	直営 管理	正1,会9	正28,臨3,非2	32,422	—	448
学2	湯沢西小学校	H19	47	15	9,462		正1,会14	正32,臨1	36,288	—	457
学3	山田小学校	S57	47	40	5,787		正2,会3	正13	32,789	—	83
学8	稲川小学校	H13	47	21	6,178		正2,会6	正20,臨2,非1	35,455	—	217
学10	雄勝小学校	H27	47	7	4,023		正1,会6	正14,臨1	21,598	—	138
学11	皆瀬小学校	H17	47	17	5,034		正1,会1	正10,臨1	32,236	—	58
学12	湯沢北中学校	H23	47	11	8,907		正1,会1	正22,臨3,非3	31,654	—	229
学13	湯沢南中学校	S44	47	53	6,647		正1,会1	正25,非1,臨1	27,666	—	260
学14	山田中学校	S54	47	43	4,088		正1	正13,臨2	23,115	—	56
学15	稲川中学校	S49	47	48	6,460		正1,会1	正19	25,760	—	139
学16	雄勝中学校	S49	47	48	8,548		正1	正16,臨2	27,048	—	106
学17	皆瀬中学校	S53	47	44	4,811		正1	正14,臨1	19,109	—	37

※職員数（県職員）、児童生徒数は令和5年5月1日現在

※県職員の人件費は支出に含まない

学1 湯沢東小学校

湯沢北中学校に併設し、校舎は鉄筋コンクリート造4階建て、延床面積7,139㎡。体育館は鉄筋コンクリート一部鉄骨造2階建て、延床面積1,896㎡。その他プール附属施設（木造）、スクールバス車庫（鉄骨造）など6施設、延床面積688㎡となっています。

校舎・体育館は平成23年に新耐震基準で建築し、11年経過しています。

児童数は、平成17年（5月1日時点、以降同様）合併時726人でしたが、令和5年には448人（5月1日時点、以降同様）に減少し、令和7年には403人になると見込まれています。

普通教室18室（特別支援教室4室含む）、特別教室6室（図書室・音楽室・理科室・家庭科室・図工室・外国語室）を配置し、人件費を含む管理運営費は32,422千円となっています。

学2 湯沢西小学校

令和3年度に三関小学校と須川小学校を統合しています。校舎は鉄筋コンクリート造3階建て、延床面積7,409㎡。体育館は鉄筋コンクリート一部鉄骨造2階建て、延床面積1,617㎡。その他プール附属施設（木造）、スクールバス車庫（鉄骨造、木造）など5施設、延床面積436㎡となっています。

校舎・体育館は平成19年に新耐震基準で建築し、15年経過しています。

児童数は、平成17年合併時971人でしたが、令和5年には457人に減少し、令和7年には415人になると見込まれています。

普通教室21室（特別支援教室5室含む）、特別教室8室（図書室・音楽室・理科室・家庭科室・図工室・コンピュータ室・生活科室・外国語室）を配置し、人件費を含む管理運営費は36,288千円となっています。

学3 山田小学校

校舎は鉄筋コンクリート造3階建て、延床面積4,576㎡。体育館は鉄筋コンクリート一部鉄骨造2階建て、延床面積1,174㎡。その他プール附属施設（木造）など2施設、延床面積37㎡となっています。

校舎・体育館は昭和57年に新耐震基準で建築し、平成26年と平成27年に教室棟屋根防水工事、平成27年に体育館吊り天井落下防止対策工事、平成29年に体育館屋根防水改修工事、煙突石綿除去・暖房設備改修工事を実施していますが、建築から40年経過し老朽化が進んでいます。

児童数は、平成17年合併時251人でしたが、令和5年には83人に減少し、令和7年は90人になると見込まれています。

普通教室8室（特別支援教室2室含む）、特別教室8室（図書室・音楽室・理科室・家庭科室・図工室・コンピュータ室・生活科室・外国語室）を配置し、人件費を含む管理運営費は32,789千円となっています。

学8 稲川小学校

令和4年度に稲川地域の4小学校（稲庭小学校、三梨小学校、川連小学校、駒形小学校）を統合し、旧川連小学校の校舎を使用する稲川小学校を新設しています。校舎は鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積4,568㎡。体育館は鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積1,321㎡。その他プール附属施設（鉄筋コンクリート造）、スクールバス車庫（鉄骨造）、など3施設、延床面積289㎡となっています。

校舎・体育館は平成13年に新耐震基準で建築し、21年経過しています。4校の統合にあわせ、旧川連小学校の校舎・体育館等を令和3年に内装改修や教室間仕切りの変更などの改修工事を実施し、稲川小学校として使用しています。

児童数は、平成17年合併時581人でしたが、令和5年には217人に減少し、令和7年には190人になると見込まれています。

普通教室12室（特別支援教室3室含む）、特別教室5室（図書室・音楽室・理科室・家庭科室・図工室）を配置し、人件費を含む管理運営費は35,455千円となっています。

学10 雄勝小学校

雄勝中学校に併設し、校舎は鉄筋コンクリート造3階建て、延床面積2,115㎡。体育館は鉄筋コンクリート2階建て、延床面積1,139㎡、その他プール附属施設（木造）、スクールバス車庫（鉄骨造）など4施設、延床面積769㎡となっています。

校舎・体育館は平成27年に新耐震基準で建築し、7年経過しています。

児童数は、平成17年合併時414人でしたが、令和5年には138人に減少し、令和7年には135人になると見込まれています。

普通教室8室（特別支援教室2室含む）、特別教室8室（図書室・音楽室1・音楽室2・理科室・家庭科室・図工室・コンピュータ室・外国語室）を配置し、人件費を含む管理運営費は21,598

千円となっています。

学11 皆瀬小学校

校舎は鉄筋コンクリート造 2 階建て、延床面積3,268㎡。体育館は鉄筋コンクリート造 2 階建て、延床面積1,412㎡。その他プール附属施設（鉄筋コンクリート造）など 3 施設、延床面積354㎡となっています。

校舎・体育館は平成17年に新耐震基準で建築し、17年経過しています。

児童数は、平成17年合併時159人でしたが、令和 5 年には58人に減少し、令和 7 年には49人になると見込まれています。

普通教室 7 室（特別支援教室 2 室含む）、特別教室 6 室（図書室・音楽室・理科室・家庭科室・図工室・外国語室）を配置し、人件費を含む管理運営費は32,236千円となっています。

学12 湯沢北中学校

湯沢東小学校に併設し、校舎は鉄筋コンクリート造 4 階建て、延床面積6,064㎡。体育館は鉄骨鉄筋コンクリート造 2 階建て、延床面積1,806㎡。武道場は鉄骨造平屋建て、延床面積1,024㎡。その他 1 施設、延床面積13㎡となっています。

校舎・武道場は平成23年、体育館は平成元年（平成19年318㎡増築）に新耐震基準で建築し、校舎・武道場は11年、体育館は33年経過しています。平成28年に体育館の吊り天井落下防止対策工事を実施しています。

生徒数は、平成17年合併時388人でしたが、令和 5 年には229人に減少し、令和 7 年には226人になると見込まれています。

普通教室11室（特別支援教室 3 室含む）、特別教室11室（図書室・音楽室・調理室・被服室・美術室・技術室 1・技術室 2・理科室 1・理科室 2・コンピュータ室・外国語室）を配置し、人件費を含む管理運営費は31,654千円となっています。

学13 湯沢南中学校

校舎は鉄筋コンクリート造 4 階建て、延床面積5,024㎡。体育館は鉄骨鉄筋コンクリート造 3 階建て、延床面積1,472㎡。その他プール附属施設（木造）など 2 施設、延床面積151㎡となっています。

校舎は昭和44年、体育館は昭和45年の旧耐震基準による建築で、校舎は平成26年に耐震補強工事及び大規模改修工事、体育館は平成22年に耐震補強工事、平成25年に大規模改修工事を実施し、耐震基準を満たしていますが、建築から校舎は53年、体育館は52年経過し老朽化が進んでいます。

生徒数は、平成17年合併時549人でしたが、令和 5 年には260人に減少し、令和 7 年は263人になると見込まれています。

普通教室12室（特別支援教室 3 室含む）、特別教室10室（図書室・音楽室 1・音楽室 2・調理室・被服室・美術室・技術室・理科室 1・理科室 2・コンピュータ室）を配置し、人件費を含む管理運営費は27,666千円となっています。

学14 山田中学校

校舎は鉄筋コンクリート造 3 階建て、延床面積2,978㎡。体育館は鉄骨鉄筋コンクリート造 2 階建て、延床面積993㎡。その他プール附属施設（木造）など 3 施設、延床面積117㎡となっています。

校舎は昭和54年、体育館は昭和55年に旧耐震基準で建築し、平成26年に耐震補強工事を実施し耐震基準を満たしていますが、建築から校舎は43年、体育館は42年経過し老朽化が進んでいます。平成29年に煙突更新工事、平成30年に図書室屋根改修工事を実施しています。

生徒数は、平成17年合併時123人でしたが、令和5年には56人に減少し、令和7年には51人になると見込まれています。

普通教室6室（特別支援教室3室含む）、特別教室8室（図書室・音楽室・調理室・被服室・美術室・技術室・理科室・コンピュータ室）を配置し、人件費を含む管理運営費は23,115千円となっています。

学15 稲川中学校

校舎は鉄筋コンクリート造3階建て、延床面積4,937㎡。体育館は鉄骨造2階建て、延床面積1,280㎡。その他プール附属施設（鉄骨造）など2施設、延床面積243㎡となっています。

校舎は昭和49年、体育館は昭和50年に旧耐震基準で建築し、いずれも平成16年に耐震補強工事及び大規模改修工事を実施し耐震基準を満たしていますが、建築から校舎は48年、体育館は47年経過して老朽化が進んでいます。平成29年に付帯設備（外部階段・外壁等）改修工事を実施しています。

生徒数は、平成17年合併時330人でしたが、令和5年には139人に減少し、令和7年には129人になると見込まれています。

普通教室7室（特別支援教室1室含む）、特別教室11室（図書室・音楽室・調理室・被服室・美術室・技術室1・技術室2・理科室1・理科室2・コンピュータ室・外国語室）を配置し、人件費を含む管理運営費は25,760千円となっています。

学16 雄勝中学校

雄勝小学校に併設し、校舎は鉄筋コンクリート造3階建て、延床面積6,259㎡。体育館は鉄骨造2階建て、延床面積1,736㎡。武道場は鉄骨造平屋建て、延床面積514㎡。その他2施設、延床面積39㎡となっています。

校舎・体育館は昭和49年に、武道場（雄心館）は昭和55年に旧耐震基準で建築し、体育館は平成24年に、校舎は平成25年に、それぞれ耐震補強工事及び大規模改修工事を実施し、また、武道場は平成26年に、耐震補強工事を実施していますが、建築から、校舎・体育館は48年、武道場は41年経過して老朽化が進んでいます。

生徒数は、平成17年合併時241人でしたが、令和5年には106人に減少し、令和7年には75人になると見込まれています。

普通教室6室（特別支援教室2室含む）、特別教室10室（図書室・音楽室1・音楽室2・調理室・被服室・美術室・技術室・理科室・コンピュータ室・外国語室）を配置し、人件費を含む管理運営費は27,048千円となっています。

学17 皆瀬中学校

校舎は鉄筋コンクリート造3階建て、延床面積3,756㎡。体育館は鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積914㎡。その他1施設、延床面積140㎡となっています。

校舎は昭和53年に（一部は昭和43年）、体育館は昭和51年に旧耐震基準で建築し、体育館は平成16年に、校舎は平成17年に、耐震補強工事及び大規模改修工事を実施し耐震基準を満たしていますが、建築から校舎は44年（一部54年）、体育館は46年経過し老朽化が進んでいます。平成27年に

体育館の吊り天井落下防止対策工事を実施しています。

生徒数は、平成17年合併時87人でしたが、令和5年には37人に減少し、令和7年は38人になると見込まれています。

普通教室4室（特別支援教室1室含む）、特別教室10室（図書室・音楽室・調理室・被服室・美術室・技術室1・技術室2・理科室・コンピュータ室・外国語室）を配置し、人件費を含む管理運営費は19,109千円となっています。

【現状と課題のまとめ】

学校再編計画においては、「再編の基本方針」として、小中学校が同じ課題を共有し、義務教育の9年間で連携した教育を行うため、「1小1中」を基本とする「小中連携教育の推進」、地域が培ってきた伝統や文化を保存、継承できるよう地域とのつながりを大切にし、地域とともにある学校づくりに努める「地域の特色を生かした教育の推進」、同学年での集団生活・活動が可能な配置に努める「複式学級の解消」を掲げており、「適正な学校規模」としては、少なくとも25名程度で学級編制ができる学校を望ましい規模としています。

この学校再編計画に基づき、小中学校の適正規模・適正配置を行っていますが、今後も児童生徒数及び学級数の推移を見極め、子どもたちにとって望ましい学校のあり方について、将来を見据えて議論を進める必要があります。

一方、学校は、地域コミュニティの拠点としての位置づけを踏まえ、体育館・グラウンド等を利用した学校体育施設開放事業のほか、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）等での利用を増やしていくことが求められます。また、学校のセキュリティの確保などを前提に、学校施設への地域利用施設の複合化の検討も必要とされます。

また、学校プールについては、令和4年度に学校プールの管理についての方針を定め、小学校プールについては、今後も授業で使用していくため維持管理を徹底していくこととしています。中学校プールについては、授業で使用しないこととし、土地の有効活用を図るため計画的な解体を検討する必要があります。

ウ 今後の方針とスケジュール

総合管理計画の今後の方向性に基づき、「施設の安全性」、「施設の必要性」、「施設の有効性」、「管理運営の効率性」の視点から検証し、分析・評価を行いました。また、分析・評価を踏まえて、施設の対応方針を定めました。これらの内容は次のとおりです。

【基本的な考え方】

- 児童生徒数及び学級数の推移を精査し、子どもたちの教育環境の向上及び社会性の確保の観点から、学校再編計画に基づく適正規模、適正配置を推進します。
- 学校施設は、保全計画及び長寿命化計画に基づき計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。
- 統合に伴い廃校舎となる施設は、令和5年に策定した「湯沢市公有財産の有効活用にあたっての基本方針」（以下、「基本方針」という。）に基づき、公共利用や地域利用を確認したうえで、利活用の見込みがない場合は、売却・民間活用の可能性など、他の遊休施設を含めた利活用方針を策定し、サウンディング型市場調査等の手法を駆使して、総合的に活用策を検討します。
- 学校が地域コミュニティの拠点であるとの位置づけを踏まえ、教室の利用実態を精査し、

学校運営に支障の無い範囲で、セキュリティ対策など必要な対策を講じて、地域利用施設との複合化を検討します。

- 管理委託業務の発注方式を見直し、効率的に運営します。
- 授業で使用しない中学校プールについては、危険防止の観点も含め、土地の有効活用を図るため計画的な解体を検討します。

【個別施設ごとの対応方針】

＜今後統廃合を進める学校＞

学13 湯沢南中学校

学14 山田中学校

- 学校再編計画に基づき検討した結果、令和8年度に湯沢南中学校へ山田中学校を統合します。
- 湯沢南中学校の校舎等については、保全計画及び長寿命化計画に基づき計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。
- 山田中学校の校舎等については、基本方針に基づき、公共利用・地域利用を確認のうえ、利活用の見込みがない場合は、売却・民間活用についてのサウンディング型市場調査を実施し、有効活用を検討します。

＜今後再編の検討を行う学校＞

学11 皆瀬小学校

学17 皆瀬中学校

- 学校再編計画に基づき、PTAや地域との意見交換を引き続き行い、再編を検討します。
- 再編の検討結果、学校施設として維持する場合は、長寿命化計画を踏まえ、保全計画に基づき計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。

＜その他の学校＞

学1 湯沢東小学校

学2 湯沢西小学校

学3 山田小学校

学8 稲川小学校

学10 雄勝小学校

学12 湯沢北中学校

学15 稲川中学校

学16 雄勝中学校

- 保全計画及び長寿命化計画に基づき計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。

【年度別スケジュール】

項目	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 ~ 2030年度 (R10) ~ (R12)
湯沢南中学校	環境整備		● 統合	統合中学校としての展開	
山田中学校	統合準備				
皆瀬小学校 皆瀬中学校	児童・生徒数に応じた再編の検討				
湯沢東小学校 湯沢西小学校 山田小学校 稲川小学校 雄勝小学校 湯沢北中学校 稲川中学校 雄勝中学校	保全計画・長寿命化計画に基づく改修を行い継続使用				

エ 概算事業費と効果額

単位：千円

施設 No.	施設名称	今後の 方向性		更新費用の試算（40年間：令和2～41年度）					維持管理費		
				現状維持した場合			本計画を実施した場合		単年度の比較		
		建物	長寿命 命化	大規模改修	建替	合計	長寿命化等 大規模改修	建替	合計	現状維持	計画実施
学1	湯沢東小学校	継続	●	2,236,329	0	2,236,329	3,354,494	0	3,354,494	22,141	22,141
学2	湯沢西小学校	継続	●	2,176,278	4,229,550	6,405,828	3,264,418	0	3,264,418	26,007	26,007
学3	山田小学校	継続	●	1,330,884	2,586,543	3,917,427	1,996,325	0	1,996,325	16,789	16,789
学8	稲川小学校	継続	●	1,420,816	2,761,325	4,182,140	2,131,224	0	2,131,224	19,455	19,455
学10	雄勝小学校	継続	●	925,391	0	925,391	1,388,087	0	1,388,087	13,598	13,598
学11	皆瀬小学校	継続	●	1,157,884	2,250,323	3,408,208	1,736,827	0	1,736,827	24,236	24,236
学12	湯沢北中学校	継続	●	2,048,610	0	2,048,610	3,072,915	0	3,072,915	21,428	21,428
学13	湯沢南中学校	継続	●	1,528,773	2,971,137	4,499,911	1,528,773	2,971,137	4,499,911	17,440	17,440
学14	山田中学校	検討		1,880,627	1,827,479	3,708,106	0	0	0	15,115	15,115
学15	稲川中学校	継続	●	1,485,777	2,887,575	4,373,352	2,228,666	2,887,575	5,116,241	15,534	15,534
学16	雄勝中学校	継続	●	1,966,031	3,820,938	5,786,969	1,966,031	3,820,938	5,786,969	19,048	19,048
学17	皆瀬中学校	継続	●	1,106,482	2,150,423	3,256,905	1,659,723	2,150,423	3,810,146	11,109	11,109
概算事業費（合計）				19,263,882	25,485,294	① 44,749,176	24,327,481	11,830,074	② 36,157,555	③ 221,900	④ 221,900

更新費用の試算比較 ②－①	単年度の維持管理費の比較 ④－③
△ 8,591,621 千円	0 千円